

火災報知器の作動(非火災報)について

2016年11月14日

発生時の状況

2016年11月12日14時07分、4号機(施設定期検査中)原子炉建屋1階の西側通路(放射管理区域内)において、火災報知器が作動しました。当社社員による現場確認の結果、火災ではないことを確認しました。

溶接作業時にアースランプ(注)が適切な位置に取り付けられておらず、近傍のワイヤロープに電流が流れたことでワイヤロープに塗布している油分が気化し、その影響で火災報知器が作動したと推定しています。

なお、火災報知器が作動する前に当該作業の監視をしていた協力会社社員が異臭に気づき、溶接作業は中断していました。

今後、溶接作業開始前の現場の状況確認を徹底します。

(注)アースランプとは、溶接作業時に必要な電流を流すため被溶接物に接触させるもの。アースランプを介して電流が流れる。

以上